

第8回 北広島市長期総合計画審議会 議事録

■日時 平成22年4月28日(水) 18:00~18:30

■会場 芸術文化ホール 活動室 1・2

■出席委員

村山紀昭会長、麻生昌裕委員、穴田廣光委員、伊藤寛委員、宇田川留美子委員、
鶴木一任委員、遠藤智恵子委員、大川壽雄委員、大谷恵一委員、岡本若子委員、
桂裕章委員、川島光行委員、菊池重敏委員、小池隆史委員、斎藤冽委員、杉本修委員、
鈴木康照委員、長井敏行委員、藤野伸行委員、森國聡委員、森永正造委員、
吉田俊一委員、吉田正男委員

■欠席委員

内手進委員、大木克夫委員、岡喜美江委員、三瓶徹委員、富田忠行委員、根岸敏子委員、
榎武弘委員

■事務局

上野正三市長 白崎三千年教育長 岩泉功一企画財政部長、木下信司総合計画課長、
前野康弘総合計画課主査、齋藤洋平総合計画課主任

■傍聴 1名

1 開会

開会に先立ち、新任の事務局スタッフの紹介があった。

2 会長あいさつ

【会長】今年の2月に総合計画の内容はほぼ固まっていたが、パブリックコメントを実施し、意見が出たらその内容について再度検討した上で答申に臨むということで考えていた。しかしながら、後ほど事務局からも報告があるが、パブリックコメントが1件しかなく、内容的にも事務局の方で対応可能なものであったことから、再検討のために予定していた審議会を取りやめにした。

今回の会議で最終の審議を行い、その後、市長に答申するという予定で今日はお集まりいただいているので、よろしくお願ひしたい。

3 報 告

事務局からパブリックコメントでの意見と、それに対する市の考え方の案について、資料を基に説明があった。

【会長】 今、事務局からパブリックコメント結果に関する説明があったが、これについて何が意見等ある方はいるか。

対応については、私個人としては概ね妥当なところではないかと思っている。よろしいだろうか。

特に意見がないようなので、パブリックコメントについては、事務局から説明のあった対応で了承されたこととしたい。

4 議 事

事務局から、総合計画（第5次）案に関する字句等の修正に関して説明があった。

【会長】 土地利用図に関しては、審議会段階で掲載しなければいけないものかどうか、個人的にはもともと疑問に思っていた。正直「この地域は何に利用する」といったことは、審議会で議論するのは難しいだろうと考えていた。この部分については、行政が考えていくべきものであり、審議会では手を触れない方がいいと思う。

字句の修正については問題ないと思うがどうか。

特になければ、修正部分についての確認については了承したものとさせていただきたい。

これをもって、総合計画（第5次）案について一通りの審議が終了したということで、全体について、承認を取らせていただきたい。この内容で答申してよろしいか。

（会場から「はい」の声）

それでは、この総合計画（第5次）案で答申することとしたい。

最後に、審議会の会長としてあいさつをさせていただきたい。

長い間、まとめ役を仰せつかり進行させてもらったが、私が思っていた以上に議論も進み、いくつかの点では委員の皆さんの意見が非常に勉強になった。進行管理や、市民と行政の協働などの観点は、私もこの場で随分と勉強させていただいた。

総合計画（第5次）案はできあがったが、これで終わったという気はしていない。最終的には、ほぼ答申に近い形で策定されていくと思うが、この計画の策定に関わった者として、これから何をしていくべきなのか、これを宿題のように感じている。この計画を単なる紙切れにしないために自分も関わっていききたいし、市にもがんばっていただき

たいと思う。

最後に、委員の皆様には、積極的にご意見をいただいたことを、この場を借りて感謝したい。これをもって審議会は終了としたい。

5 答 申

村山会長から、上野市長に、答申書及び北広島市総合計画（第5次）案を手渡した。

【会長】 昨年の7月から全体会議を8回、各専門部会を7回、専門部会長会議を2回開催し、慎重に審議を行った結果として、北広島市総合計画（第5次）案を答申させていただく。

この答申及び審議会での各委員の意見等に十分配慮して、総合計画を決定されること、そして、確実に推進されることを期待する。

【市長】 ただいま、村山会長から総合計画（第5次）案の答申をいただいた。

約9カ月、のべ31回に渡る熱心なご議論、ご審議をいただき、本日、答申をいただくに至った。委員の皆様的心からのご意見・ご議論に対して、感謝申し上げたい。

この答申をもとにして、市として総合計画を策定していきたい。

6 閉 会